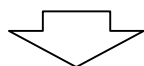

4 章 堀川まちづくりの指針



1. 堀川まちづくりの6つのテーマ

市民の誇りとなる堀川の実現に向けた基本理念を踏まえ、「堀川力」をさらに高めていくための“6つのテーマ”を設定しました。それぞれのテーマが関連しあうことで堀川の魅力が向上することから、テーマ間の横のつながりを意識しながら、まちづくりを推進していきます。

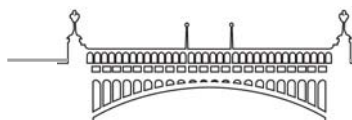
基本理念 “うるおいと活気の都市軸・堀川” を再び



“堀川力” をさらに高めるために



堀川まちづくりの“6つのテーマ”



2. 堀川まちづくりの指針

堀川まちづくりを進めていくため、堀川力向上の具体的な取り組みの方向性と、民・産・学・官の共通目標を示すまちづくりの指針を設定しました。

この指針は、民・産・学・官の各主体がそれぞれの長所や得意分野を活かして連携・協力しながらテーマの実現に取り組んでいくためのよりどころとなるもので、市民団体等との協働により、6つのテーマに対し16の指針を設定しました。さらに、この指針の実現のために取り組むアイデアとして、他都市での事例や堀川に関わる市民団体から提案された事例等をまとめました。

■ 6つのテーマと堀川まちづくりの指針

テーマ	堀川まちづくりの指針
テーマ1 歴史・文化を活かす	1. 堀川の歴史を伝える
	2. 堀川と周辺のまちの歴史をつなぐ
	3. 歴史的な名所や祭を再生・活用する
テーマ2 堀川を楽しむ場をつくる	4. 水に親しむ場や機会をつくる
	5. 沿川の土地・建物を川面に向ける
テーマ3 祭と交流の舞台をつくる	6. 堀川を軸とした交流拠点を形成する
	7. 堀川の歴史や特色を活かしたイベントを開催する
テーマ4 船を活用する	8. 舟運による交通軸を形成する
	9. 舟運のための環境を整える
	10. 船の利用機会をふやす
テーマ5 堀川を活かした景観をつくる	11. 川沿いの風景を演出する
	12. 景観形成のルールをつくる
テーマ6 水・緑・生物を育む	13. 水と緑のネットワークをつくる
	14. 水と水辺をきれいにする
	15. 多様な生物をはぐくむ
	16. 環境学習を実践する



テーマ1

歴史・文化を活かす

堀川周辺に残る多くの歴史資源や長きにわたって蓄積・継承されてきた文化を掘り起こし、それらを効果的に活かしたまちづくりを進めます。

指針1 堀川の歴史を伝える

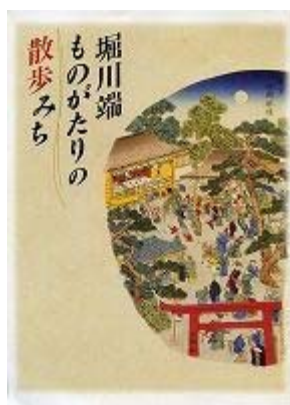
開削 400 年を迎えた堀川の歴史・文化を掘り起こし、その魅力や価値を幅広く伝えていきます。

1) 歴史・文化資源の整理・情報発信

遺跡、社寺、町並み、近代建築、祭、木材業、海産物商など、堀川周辺に残る多くの歴史・文化資源を掘り起こして整理し、様々な媒体を活用して効果的に情報発信します。

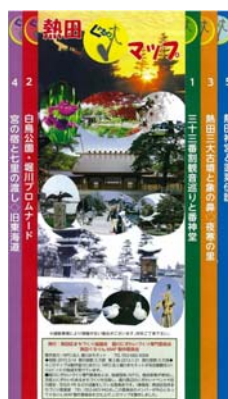
<取組事例・アイデア>

- ・ 市民の堀川に対する認識や愛着を醸成するため、堀川の歴史的な重要性や名古屋都心に残された貴重な水辺空間としての意義について、冊子などを発行して情報発信する。
- ・ 新たな視点で堀川にまつわる歴史、文化資源を掘り起こすため、市民参加による堀川まち歩きやマップ作りに取り組む。取り組みを通じて、市民が堀川の歴史を知り、考えるきっかけとなる機会を創出する。
- ・ (財)名古屋観光コンベンションビューローとの連携を図り、映画・ドラマなどの撮影の誘致を行い、映像作品を通して歴史・文化をはじめとする堀川の魅力を広く情報発信する。



堀川沿川などの社寺や
史跡等にまつわるもの
がたりを集めた冊子

発行：堀川文化を伝える会
名古屋市



熱田ぐるりんマップ

発行：熱田ぐるりんマッ
プ制作委員会

2) 歴史・文化資源の活用

堀川周辺にある、遺跡や社寺、町並み、近代建築、祭、木材業、海産物商など、多くの歴史・文化資源を有効に活用し、堀川の利活用と一体となったまちづくりを進めます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 宮の渡しや太夫堀、堀川七橋、名古屋城、辰之口水道大樋跡、黒川樋門などを、堀川の歴史・文化を伝える貴重な資源として保全するとともに、施設整備や修景などの環境整備を行う。
- ・ 黒川樋門、四間道地区の古い商家、旧加藤商会ビル（納屋橋）、松重閘門、宮の渡し周辺の古い建物などの歴史的建造物等は、沿川の地域住民や市民が集い、ふれあうことのできる交流拠点として活用・再生する。
- ・ 本丸御殿の復元など名古屋城の歴史を活かしたプロジェクトの推進にあわせて、舟運利用やイベント開催などにより、堀川と名古屋城との結びつきの強化、名古屋城を拠点とした沿川観光の振興を図る。
- ・ 四間道地区では、舟運にゆかりのある歴史的施設を活用し、堀川と歴史的な町並みとの関わりを強化する。
- ・ 木材産業で使っていた荷揚げ場やクレーンなどを災害時の活用も想定して保存する。



旧加藤商会ビル

3) 生涯学習や学校教育における歴史教育・環境教育の推進

市民が日頃から堀川の歴史や文化にふれ、学ぶことができるよう、生涯学習や学校教育における歴史教育・環境教育を推進します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 沿川の施設や学校等で堀川に関連する講座を開講する。
- ・ 講座の実施にあたっては、堀川で活動する市民団体などが講師を派遣する。
- ・ 受講修了生の登録制度（堀川マイスター制度、ボランティアガイドなど）の創設やOB会の組織化などにより、受講生が継続的に堀川と関わりを持ち、活動が続けられる仕組みづくりを行う。
- ・ 学校教育との連携を図り、小中学校の総合的な学習の時間などを活用した、堀川に関する歴史教育・環境教育を実践する。



堀川に関する講座



指針2 堀川と周辺のまちの歴史をつなぐ

熱田や四間道などをはじめ、堀川沿川には古くからの歴史を有するまちが点在しています。こうしたまちの歴史と堀川の水辺空間をつなぎ、一体となった魅力あるまちづくりを進めます。

1) 歴史的界隈を巡る散策路の整備

堀川の水辺空間と沿川地区の歴史的な界隈をつなぐ散策路の整備などにより、市民や観光客が、堀川の水辺とまちの歴史を感じられるまちづくりを進めます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 市民や観光客などだれもが気軽に歴史を学びながら散策を楽しむことができるように、界隈ごとに歴史散策マップを作成する。
- ・ 川沿いの遊歩道や船着き場、沿川市街地の主要施設や散策路など主要なポイントには、歴史や特徴などをわかりやすく解説した統一的なデザインによる案内板や標識を設置する。
- ・ 沿川の界隈を巡る散策ルートを設定し、来訪者が安全に快適に楽しむことができる散策路として整備・充実を図る。
- ・ 尾頭橋、日置橋、洲崎橋、納屋橋、五条橋、朝日橋など、堀川沿川の歴史的な界隈への起点となる橋は、界隈の特徴を反映し、歴史を感じられる環境整備を行うなど、観光資源としての魅力向上を図る。



五条橋



案内板（納屋橋）

2) 歴史・文化を体感できるイベントの開催

堀川と周辺の歴史的な界隈を舞台としたイベントを開催し、市民や観光客が堀川や沿川地域の歴史や文化に気軽にふれられる機会を創出します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 堀川を起点に歴史的な界隈を巡る散策イベントなどを開催する。
- ・ 名古屋まつりやにっぽんど真ん中祭りなど市内で開催されている主な歴史的・文化的イベントとも積極的な連携を図り、堀川と一体となったイベント開催を誘導する。

指針3 歴史的な名所や祭を再生・活用する

開削 400 年の歴史を振り返り、かつての堀川で行われてきた数々の伝統行事で現在では行われなくなっているものを発掘し復活させることにより、堀川の新たな魅力として再生します。

1) 船を使った伝統行事の復活・活用

かつてのにぎわいを見せていた頃の堀川で行われていた、堀川の水面や船を使った歴史的・伝統的な行事を復活し、堀川の歴史を伝える新たな魅力として再生し活用します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 月見船や花見船など御座船等の舟遊び、まきわら船、施餓鬼供養などの歴史的・伝統的な行事を復活させて、堀川の新たな魅力として再生する。
- ・ 歌舞伎役者の顔見世や船乗り込みを継続的に開催し、堀川の恒例行事として定着化を図る。
- ・ 堀川の水運を活かした伝統産業である木材産業の象徴として、筏の輸送や木挽きの実演などを体験できる筏を利用したイベントを開催する。
- ・ 東海道宿場町である宮の宿と桑名宿を結んでいた七里の渡しを再現した観光船を復活させる。



御座船の活用

2) 名所の再生

堀川開削 400 年の歴史の中でにぎわいを創り出してきたかつての名所を、堀川の新たな名所・魅力として再生します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 日置橋周辺の桜並木を復活させて、かつての桜の名所としての魅力を再生する。
- ・ 市指定文化財の松重閘門周辺は、水面と公園が一体となった空間整備を進めるとともに、中川運河と一体となった水上交通の充実を図り、堀川の新たな名所として再生する。



黒川地区の桜並木



テーマ2

堀川を楽しむ場をつくる

広場やプロムナードなど親水性の高い空間整備を行うとともに、沿川建物の堀川との関係性を強化することにより、堀川を見て、感じて、楽しむことができる場づくりを進めます。

指針4 水に親しむ場や機会をつくる

親水広場や連続するプロムナードなど親水性の高い空間整備を行うことにより、水に親しみ、水にふれられる場とします。

1) プロムナードの連続化

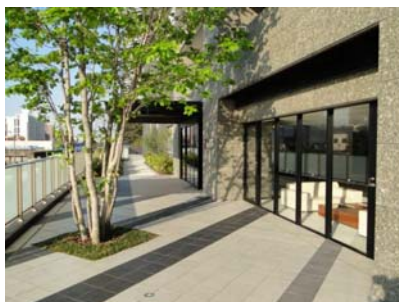
沿川の地形や土地利用、建物などの条件を踏まえた多様な整備方法を組み合わせて、連続するプロムナードの形成を図ります。

<取組事例・アイデア>

- ・ 公共空間を活かした遊歩道を整備する。
- ・ 建物1階部分のセットバックにより遊歩空間を確保する。
- ・ 堀川への張り出しを設置する。
- ・ 名古屋城周辺では、本丸御殿の復元整備とともに沿岸の散策路を整備する。
- ・ 橋で分断されている遊歩道をアンダーパスでつなぎ、連続性を確保する。



公共空間を活かした遊歩道の連続化の例（東京・天王洲運河）



セットバックによる遊歩空間の例（東京・朝潮運河）



張り出しの設置の例（カナダ・トロント）

2) 堀川を眺める親水広場の確保

堀川の水辺を感じながら憩い、ふれあうことができる親水性の高い広場を確保します。

＜取組事例・アイデア＞

- ・ 橋詰め緑地・公園を整備する。
- ・ 橋詰めカフェを新設する。
- ・ 松重閘門周辺では、船着き場の新設とともに水面と公園が一体となった憩いの場を整備する。



堀川・シャムズガーデン



水辺と一体となった憩いの場の例
(シンガポール・クラークキー)

3) 水面利用によるスポーツ・レジャー機会の創出

堀川の水面を利用して、様々なスポーツやレジャーを楽しむことができる機会を創出します。

＜取組事例・アイデア＞

- ・ 堀川口周辺や白鳥地区では、広い川幅を活用したレガッタやカヌーなど水上スポーツを楽しめるようにする。
- ・ 手こぎ・足こぎ船、カヤック・カヌーなどの乗船体験機会を創出する。



堀川ボートフェスティバル



指針5 沿川の土地・建物を川面に向ける

沿川の土地・建物は堀川に背を向けるのではなく、できる限り堀川に顔を向けたものとし、水辺とのつながりを強めて親水性を高めます。

1) 川面に顔を向けた土地・建物利用

川に面した部分を公共的な空間として活用を図るほか、建物部分についても水辺とのつながりを意識できる建物利用を進めます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 沿川の公共的な活用が図れる空間を有効に活用し、オープンカフェを設置する。
- ・ 沿川建物の1階店舗をピロティ化したり、通り抜けを確保する。
- ・ 沿川の建物や敷地からそのまま乗船できるように、船着き場や駐艇スペースを確保する。
- ・ 水辺の活用事例を集め、沿川地権者らに情報発信する。



1 階店舗のピロティ化の例
(京都・高瀬川)



川沿いのレストランの例
(シンガポール・クラークキー)

テーマ3

祭と交流の舞台をつくる

堀川やその沿川地域を舞台とした多様な祭や交流の機会を創出することにより、多くの市民や観光客が集い、ふれあい、活動し、にぎわいを生み出すまちづくりを進めます。

指針6 堀川を軸とした交流拠点的形成する

国際コンベンションや各種イベントの開催を通して、市民はもとより国内外から多くの人々が集う、堀川を軸とした交流拠点の形成をめざします。

1) 国際コンベンションや本格的イベント開催の拠点化

堀川沿川の3会場（白鳥、名古屋城、名古屋港）を舞台に行われた世界デザイン博覧会の理念や成果を受け継ぎ、堀川を軸に3つの拠点が一体的につながった交流拠点の形成をめざします。

<取組事例・アイデア>

- ・ 世界デザイン博覧会やCOP10などの国際的なコンベンションや大規模イベントの理念や成果を継承したイベントを継続的に開催する。
- ・ イベント開催時には、来訪者が堀川の舟運を利用し楽しめるように、船着き場や沿岸の環境整備を図るとともに、定期船や観光船の就航を充実させる。



世界デザイン博白鳥会場

2) サミット・シンポジウム等の開催

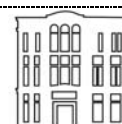
全国の河川や舟運に係る都市や市民団体等が集まり、交流や情報交換を行う機会を創出します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 堀川サミットや河川舟運シンポジウムなどを開催する。
- ・ 水都をめざす全国各都市のネットワークに参加し、各都市の取り組みを学び合いながら、その魅力を互いに高め、それを広く発信していく。



堀川の水辺空間活用シンポジウム



指針7 堀川の歴史や特色を生かしたイベントを開催する

現在行われている行事・イベントなどの継続的な実施や充実を図るとともに、かつて行われていた伝統的な行事を発掘・復活し、堀川の歴史や特色を生かした魅力あるイベントを開催します。

1) 市民や沿川地域住民とともに創るイベントの開催

現在行われている祭やイベントを継続的に開催し、堀川での恒例行事として一層の定着化を図るとともに、市民の主体的な参画によって新たな祭やイベントを創造します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 堀川まつりや堀川ウォーターマジックフェスティバル、堀川フラワーフェスティバルなどを継続的に開催する。
- ・ 堀川と周辺の歴史的界隈を巡る散策イベントなどを開催し、市民や観光客が堀川や沿川地域の歴史や文化に気軽にふれられる機会を創出する。
- ・ 水上アートフェスティバルや音楽祭など市民参加型の新たな祭やイベントを創造する。
- ・ 年に1回は、名古屋港から熱田・白鳥、納屋橋、四間道・円頓寺などを含めて、名古屋城まで堀川全体を舞台として、各会場を舟運で連絡する一体的なイベントを開催する。



堀川フラワーフェスティバル



名城・堀川まきわら祭り

2) 船を使った伝統行事の復活・活用【再掲】

かつてのにぎわいを見せていた頃の堀川で行われていた、堀川の水面や船を使った歴史的・伝統的な行事を復活し、堀川の歴史を伝える新たな魅力として再生し活用します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 月見船や花見船など御座船等の舟遊び、まきわら船、施餓鬼供養などの歴史的・伝統的な行事を復活させて、堀川の新たな魅力として再生する。
- ・ 歌舞伎役者の顔見世や船乗り込みを継続的に開催し、堀川の恒例行事として定着化を図る。
- ・ 堀川の水運を活かした伝統産業である木材産業の象徴として、筏の輸送や木挽きの実演などを体験できる筏を利用したイベントを開催する。
- ・ 東海道宿場町である宮の宿と桑名宿を結んでいた七里の渡しを再現した観光船を復活させる。

3) 市民に定着している祭などの堀川沿川での開催

市内で開催され、市民に定着している祭やイベントを堀川沿川も会場に加えて開催できるよう関係機関に働きかけます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 名古屋まつりやにっぽんど真ん中祭りなどを、堀川沿川で開催できるようにする。
- ・ 愛知トリエンナーレの会場として堀川を活用する。



名古屋まつり

4) 分野や対象の枠組みを超えたコラボによるイベントの実施

祭やイベント等の実施にあたっては、ターゲット（子ども、若者、女性、ファミリー、高齢者など）やテーマ・ニーズ（歴史・文化、食、健康、自然・環境など）を踏まえ、多様な主体の連携と協働により魅力ある企画を展開します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 堀川端商家の献立暦を復元し、女性などをターゲットに、堀川の歴史的な雰囲気の中で食事ができる機会を提供する。歴史に食を組み合わせることで、新たなターゲットに歴史を伝える機会を提供する。
- ・ 堀川の歴史をもとに妖怪地図を作成し、子ども向けに妖怪地図で歩く歴史探索の機会を提供する。
- ・ 堀川花盛の団扇絵をおみやげとして再生し、イベント時などに配布・販売する。



堀川エコロボットコンテスト



堀川いこまい祭



堀川アドベンチャークルーズ



テーマ4

船を活用する

堀川の各拠点間や他地域とを結ぶ航路を確立するとともに、船を利用しやすい環境整備を図り、船を積極的に活用したまちづくりを進めます。

指針8 舟運による交通軸を形成する

堀川の各拠点間や他地域とを連絡する定期・不定期の航路を確立し、堀川を通る舟運による交通軸を形成します。

1) 拠点を結ぶ定期船の運航

市民や観光客の日常的な移動手段となる、堀川上下流を連絡する定期船の就航をめざします。

<取組事例・アイデア>

- ・ 名古屋港ガーデンふ頭、宮の渡し、白鳥公園、松重閘門、納屋橋、四間道、名古屋城などを結ぶ定期的な航路を開設し、市民や観光客が日常的な移動手段として活用できる水上交通として、船便の増加や乗船サービスなど利便性の向上を図る。
- ・ バス交通（観光ルートバス・メーグル）や名チャリとの連携などによる名古屋の主要な観光コースへの組み込みを検討するなど、堀川舟運を名古屋の新たな観光ツールとして活用していく。



定期船運航の例（松江・堀川）

2) イベント時の観光船の運航

祭やイベント、国際コンベンションの開催などにあわせて、不定期の観光船の就航をめざします。

<取組事例・アイデア>

- ・ 観光船では、堀川と沿川地域の歴史や文化など魅力をわかりやすく案内するボランティアガイドを活用する。
- ・ 沿川施設との積極的な連携に取り組み、船プラスαの観光を推進する。



ナゴヤ堀川歴史観光クルーズ

3) 堀川と他地区を結ぶ定期船の運航

中川運河や名古屋港、桑名・木曽三川方面など他地域と堀川とを結ぶ定期的な航路の開設をめざして、他地域との連携を進め、堀川を拠点とした水辺の観光振興を図ります。

<取組事例・アイデア>

- ・ 中川運河や名古屋港との一体的な水上交通網を形成する。
- ・ 桑名や木曽三川方面との連絡船を就航する。
- ・ 東海道宿場町である宮の宿と桑名宿を結んでいた七里の渡しを街道観光として再現した観光船を復活させる。

指針9 舟運のための環境を整える

船着き場の整備・充実をはじめとして快適で安定した舟運の実現に向けた環境整備を進めます。

1) 船着き場・舟運拠点基地の整備

既設の船着き場の充実を図るとともに、主要な拠点での新たな船着き場の整備を進めます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 納屋橋の船着き場は、堀川舟運の拠点基地として、既存施設を活用した乗船者待合所の拡充などの整備・充実を図る。
- ・ 名古屋港ガーデンふ頭、宮の渡し、白鳥公園、名古屋城に設けられた既設の船着き場においても、それぞれの立地上・空間上の条件を踏まえて、待合所や案内板の設置など乗船者の利便性の向上に資する環境整備を図る。
- ・ 松重閘門、四間道・円頓寺などにおいても新たな船着き場の整備を進める。
- ・ 観光バスによる旅行者が利用できるように、船着き場周辺に観光バス用駐車場を整備する。



納屋橋の船着き場



2) 舟運のための河川環境の整備改善

堀川口から名古屋城までを結ぶ航路の充実や中川運河との連携強化に向けて、河川環境の整備改善を図ります。

<取組事例・アイデア>

- ・ 船の運航に障壁となる橋の架け替えを図る。
- ・ 潮位の影響を受けずに船を安定運航できるように堰の設置などを検討する。
- ・ 堀川と中川運河、名古屋港との一体的な水上交通の運航に向けて、松重閘門の活用方法を検討する。

3) 船からみる景観の向上

快適で心地よい舟運の実現に向けて、乗船者の視点に立った魅力ある景観形成を進めます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 船から見える橋面の修景や装飾を行う。
- ・ 川沿いは連続した緑や花によって魅力ある風景づくりを行う。
- ・ 沿川地区ごとの景観ガイドラインを作成する。
- ・ 船から橋の名前がわかるように表示板を設置する。



堀川フラワーフェスティバル

4) 舟運の多面的な活用

市民や観光客の日常的な移動手段としてだけでなく、平常時の物資の運搬、災害時の救援物資の搬送や避難手段としてなど、多面的な観点から舟運の有効活用を図ります。

<取組事例・アイデア>

- ・ 水上から沿川建物への物資の運搬ができるような環境整備を行う。
- ・ 災害時において広域的な人員及び物資等の輸送を行う水上輸送路として活用することを見据え、小型栈橋等の荷揚げ場・物揚げ場の活用や確保などを行う。

指針 10 船の利用機会をふやす

移動手段としてだけでなく、堀川の水面での船の多様な楽しみ方を提供します。

1) 船上での多様な活動機会の創出

船を活用した多様な楽しみ方を満喫することができるように、堀川に浮かべた船上での多様な活動機会を創出します。

<取組事例・アイデア>

- ・ レストラン船やカフェ船などを停泊する。
- ・ 水上マーケットや船上イベントなどを開催する。
- ・ かつての堀川で行われていた御座船などの歴史的・伝統的な行事の復活など、堀川の歴史や文化を活かして新たな魅力を創出・発信する各種企画を実施する。



レストラン・カフェ船の例
(オランダ・アムステルダム運河)

2) 水面を利用した多様な体験機会の創出

堀川の水面を利用して、様々な乗船体験を楽しむことができる機会を創出します。

<取組事例・アイデア>

- ・ Gondolaの運航を継続する。
- ・ 手こぎ・足こぎ船、カヤック・カヌーなどの乗船体験機会を創出する。
- ・ 堀川の水運を活かした伝統産業である木材産業の象徴として、筏の輸送や木挽きの実演などを体験できる筏を利用したイベントを開催する。
- ・ ゴムボート等での水上清掃活動を実施し、水辺の美化活動を推進する。



堀川ウォーターマジック
フェスティバル



テーマ5

堀川を活かした景観をつくる

名古屋の代表的な川として、市民が誇りと愛着をもち、観光客にも魅力を感じてもらえるよう、堀川の歴史・文化や自然環境を活かした魅力ある景観づくりを進めます。

指針 11 川沿いの風景を演出する

花や樹木による沿川景観の演出を図るとともに、効果的なライトアップなどにより魅力ある夜景を演出します。

1) 花・樹木などによる景観演出

沿川の樹木の連続化により緑のネットワークを形成するとともに、季節の花で沿川の景観を演出します。

<取組事例・アイデア>

- ・ プロムナードの形成にあわせて、桜並木など沿川の樹木の連続化を図る。
- ・ 日置橋周辺の桜並木を復活させて、かつての桜の名所として魅力を再生する。
- ・ 花壇やハンギングバスケットなどにより、季節の花で風景を演出する。
- ・ 沿川の駐車場や空地などのオープンスペースの緑化を進める。

2) ライトアップによる夜景の演出

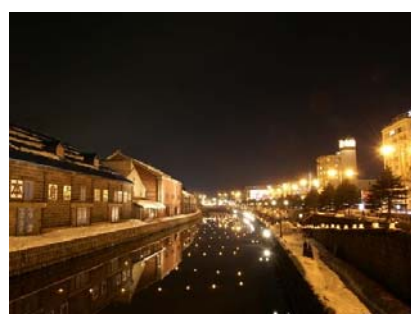
沿川の建物や樹木、橋などのライトアップを行い、魅力ある夜間景観を演出します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 沿川の建物や樹木、橋などをライトアップする。
- ・ プロムナード上に特色ある街灯や照明を設置する。
- ・ イベント開催時やクリスマスなどにイルミネーションを行う。



建物や樹木のライトアップの例
(サンアントニオ・リバーウォーク)



特色あるプロムナード灯の例
(北海道・小樽運河)

指針 12 景観形成のルールをつくる

民・産・学・官の連携と協働による沿川の魅力ある景観形成を進めるためのルールづくりを進めます。

1) 屋外広告物の規制・誘導

沿川の魅力ある景観形成に向けて、地域ごとに景観ガイドラインを作成するとともに、名古屋市屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の規制・誘導を行います。

<取組事例・アイデア>

- ・ 地区を指定し、屋外広告物の規制や掲出にあたってのルールを定める。

2) 堀川らしい景観の誘導

沿川の一体的な魅力ある景観形成に向けて、名古屋市景観基本計画を踏まえ、堀川の魅力や特性を活かした景観誘導のための指針を作成します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 堀川全体及びエリアごとの景観づくりの考え方や手法、建物や工作物など各景観要素のデザインの方向性などを整理したデザインガイドラインを策定する。
- ・ 沿川の景観にふさわしいイルミネーション計画を策定する。



テーマ6

水・緑・生物を育む

堀川の水辺と沿川の花や樹木、そこに生息する生物などが共生し、市民や観光客にうるおいややすらぎを与える、環境にやさしいまちづくりを進めます。

指針 13 水と緑のネットワークをつくる

沿川全域にわたる連続する樹木とオープンスペースの配置により、水と緑のネットワークを形成します。

1) 緑の連続化

沿川の樹木の連続化を図り、水と緑のネットワークを形成します。

<取組事例・アイデア>

- ・ プロムナードの形成にあわせて桜並木など沿川の樹木の連続化を図る。
- ・ 沿川の駐車場や空地などのオープンスペースの緑化を進める。



緑の樹木の連続化の例
(オランダ・アムステルダム運河)

2) 風を活かすオープンスペースの確保

風の道である堀川を通る冷涼な海風を周囲の市街地に拡散させ、ヒートアイランドの抑制効果を高めます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 緑地・公園の整備を図るなど、沿川にバランスよく緑のオープンスペースを確保する。
- ・ 沿川のオープンスペースの緑化を進め、緑陰空間や風の通り道を確保する。
- ・ 川沿いの建物の高さや過密度を抑制する。

指針 14 水と水辺をきれいにする

堀川の水質浄化と環境美化を進めます。

1) 水質の調査・管理と浄化

水質の浄化と環境美化を進めるため、水質調査を継続的に実施するとともに、調査の結果を踏まえた各種水質浄化施策を講じます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 水質の定点観測を定期的実施し、継続的に水質の把握と管理を行う。
- ・ 水の浄化を図るため、清掃船による定期管理を行う。
- ・ 新規水源の確保、ヘドロのしゅんせつ、汚濁負荷軽減、合流式下水道の改善、壁泉、ばっ気などの水質浄化施策を講じる。
- ・ 植生による水質改善として、市民参加による葦や空心菜などの植栽イベントを実施する。



清掃船による定期的管理の例
(サンアントニオ・リバーウォーク)



空心菜の栽培

2) 市民や沿岸地域参加の清掃活動

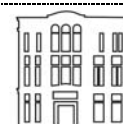
沿川各地域において、市民や地域の住民、学校、企業・事業所などとの協働による清掃活動を実践します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 沿川各地域における清掃活動を随時開催する。
- ・ 沿川全域での一斉クリーンキャンペーンを定期的実施する。



堀川一斉清掃



指針 15 多様な生物をはぐくむ

生物多様性に配慮し、水生生物の調査・育成を行うとともに、生き物の生育に配慮した水辺環境の整備を図ります。

1) 生き物に配慮した水辺環境の整備

水生生物と共生する水辺環境の整備を進めます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 河川改修や護岸整備などにおいて水生生物との共生に留意した整備を進める。
- ・ 沿川にビオトープを整備する。

2) 水生生物の調査・観察

河川環境の状況を把握するため、環境調査を定期的実施するとともに、市民や地域の住民との協働による観察会などを開催します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 水生生物を指標とする環境調査を定期的実施する。
- ・ 環境調査の結果を公表し、生物多様性や環境保全の啓発に活用する。
- ・ 市民や沿川地域の住民、小中学校などとの協働による水生生物の観察会を実施する。
- ・ 外来生物の調査や駆除を定期的実施し、在来生態系の保全を図る。



黒川生き物観察会

3) 水生生物の育成

生物多様性の観点から、水生生物の保全・育成に努めます。

<取組事例・アイデア>

- ・ 水生生物の生息域に配慮した整備を行う。
- ・ 瀬・淵の形成によって水生生物の育成環境を整備する。
- ・ COP10の理念や活動を引き継ぎ、生物多様性センターとの連携を図る。



瀬・淵の形成

指針 16 環境学習を实践する

様々な環境啓発イベントや環境教育の实践などにより、堀川との関わりを通して、環境への関心や意識を醸成します。

1) 環境啓発イベントの開催

水質浄化実験や清掃活動、水質調査や生物観察、植樹や水生植物の栽培など、環境啓発に関わる各種の体験イベントを開催します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 清掃活動や水質調査、生物観察、植樹や水生植物の栽培などの環境啓発に貢献する活動を継続的に実施する。
- ・ 環境教育の効果を高めるため、生物観察などの体験イベントの開催に合わせて事前・事後の学習会を実施するなど、開催方法を工夫する。
- ・ 堀川をテーマとした写真コンテストを開催するなど、市民や沿川地域住民が堀川の環境に関心を持てる機会を創出する。



水辺の清掃活動

2) 生涯学習や学校教育における環境教育の推進

市民が日頃から堀川の環境にふれ、学ぶことができるよう、生涯学習や学校教育を通した環境教育を推進します。

<取組事例・アイデア>

- ・ 沿川の施設や学校などで堀川に関連する講座を開講する。
- ・ 講座の実施にあたっては、堀川で活動する市民団体などから講師を派遣する。
- ・ 学校教育との連携を図り、小中学校の総合的な学習の時間などを活用した、堀川に関する環境教育を实践する。

3) 生物観察施設等の整備

沿川において、堀川の水環境や水生生物に関する学習や観察、各種体験などができる場をつくります。

<取組事例・アイデア>

- ・ 堀川の水環境や水生生物の観察ができる施設の整備を検討する。

